



## 平成26年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年5月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社エイテイング

コード番号 3785 URL <http://www.8ing.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤澤 知徳

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 池田 良章

TEL 03-5753-8178

四半期報告書提出予定日 平成26年5月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年9月期第2四半期の連結業績(平成25年10月1日～平成26年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第2四半期	1,040	△13.2	78	△71.9	79	△72.3	43	△79.9
25年9月期第2四半期	1,198	25.1	280	878.9	287	905.9	215	—

(注) 包括利益 26年9月期第2四半期 43百万円 (△79.9%) 25年9月期第2四半期 215百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年9月期第2四半期	8.36	—
25年9月期第2四半期	41.52	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
26年9月期第2四半期	1,893		1,687		89.1	
25年9月期	2,145		1,747		81.5	

(参考) 自己資本 26年9月期第2四半期 1,687百万円 25年9月期 1,747百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
25年9月期	—	0.00	—	20.00	20.00
26年9月期	—	0.00	—	—	—
26年9月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成25年9月期の期末配当金の内訳: 普通配当10円00銭、記念配当10円00銭

### 3. 平成26年9月期の連結業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	2,042	△18.1	△80	—	△79	—	△68	—	△13.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注) 詳細は、3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年9月期2Q	5,523,800 株	25年9月期	5,523,800 株
26年9月期2Q	323,000 株	25年9月期	323,000 株
26年9月期2Q	5,200,800 株	25年9月期2Q	5,200,800 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	1
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気が緩やかに回復するなかで、消費税率引き上げに先立つ駆け込み需要が強まりました。この先も輸出が持ち直しに向かい各種政策の効果が下支えするなかで、家計所得や投資が増加し景気の回復基調が続くことが期待されております。

ただし、海外景気の下振れが引き続きわが国の景気を下押しするリスクとなっており、消費税率引き上げに先立つ駆け込み需要の反動も見込まれております。

このような経済環境のなか、当第2四半期連結累計期間におけるゲーム業界は、家庭用新型ゲーム機の発売と対応ソフトの需要喚起や各種モバイル端末向けゲームコンテンツが引き続き好調だったことにより、市場は活況を呈しました。

家庭用ゲームソフト市場におきましては、昨年11月に海外で発売された「プレイステーション4」が2月に国内でも発売され、ハード及び対応ソフトの売り上げは全世界で好調に推移しております。今後は9月に国内での発売が予定されている「Xbox One」と併せて、ハード・ソフト双方の需要拡大が期待されております。

これに対して、スマートフォンやタブレット向けのゲームコンテンツ市場におきましては、2013年の市場規模は前年比178.0%の約5,468億円(株式会社CyberZ調べ)となり、家庭用ゲームソフト市場と比べて2倍強の規模にまで成長しております。今後も市場の拡大が続くと予想されており、新たなパブリッシャーの参入やコンテンツの配信数により増えることで市場のさらなる盛況が期待されております。

こうした業界動向のもと、当社グループは、ゲームコンテンツを通じて「感動」と「喜び」をユーザーへ提供すべく、市場の変化やユーザーのニーズに柔軟に対応できるようプラットフォームやジャンルを問わない開発・運用運営体制の構築を目指しております。

受託開発及び運用運営業務につきましては、新規案件受託に向けて積極的な営業活動を行うとともに、開発体制の機動性を高めることで業務の効率化及び柔軟化をより一層進めてまいりました。

また、当第2四半期連結累計期間より着手している自社コンテンツ開発につきましても、リリース後の運用運営まで見据えた一貫した体制を構築し、数多くのタイトルを提供できるよう開発を進めてまいりました。

しかしながら、受注を予定していた複数の案件が急遽取り止めになるなど受注環境が悪化したことで、当初の予想より減収となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの経営成績は、売上高は1,040,539千円(前年同四半期は売上高1,198,091千円)、営業利益は78,808千円(前年同四半期は営業利益280,830千円)、経常利益は79,759千円(前年同四半期は経常利益287,487千円)、四半期純利益は43,480千円(前年同四半期は四半期純利益215,983千円)となりました。

なお、当社グループは「ゲームコンテンツ開発事業」の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①財政状態

##### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は1,464,509千円となり、前連結会計年度末に比べ292,386千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が164,033千円減少したことによるものであります。固定資産は429,001千円となり、前連結会計年度末に比べ40,763千円増加いたしました。この結果、総資産は1,893,510千円となり、前連結会計年度末に比べ251,623千円減少いたしました。

##### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は204,719千円となり、前連結会計年度末に比べ191,088千円減少いたしました。これは主に未払法人税等が132,033千円減少したことによるものであります。固定負債は1,701千円となり、前連結会計年度末に比べ1千円増加いたしました。

この結果、負債合計は206,421千円となり、前連結会計年度末に比べ191,087千円減少いたしました。

##### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は1,687,088千円となり、前連結会計年度末に比べ60,535千円減少いたしました。これは主に四半期純利益43,480千円及び剰余金の配当104,016千円によるものであります。

この結果、自己資本比率は89.1%(前連結会計年度末は81.5%)となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて164,033千円減少し、1,169,213千円となりました。

また、当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果取得した資金は、23,681千円（前年同四半期は568,888千円の取得）となりました。主な増加要因は、売上債権の減少額100,478千円、主な減少要因は、法人税等の支払額165,485千円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は、84,388千円（前年同四半期は182,144千円の支出）となりました。主な減少要因は、無形固定資産の取得による支出79,607千円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は、103,326千円（前年同四半期は52,066千円の支出）となりました。減少要因は配当金の支払額103,326千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年9月期第2四半期（累計）の連結業績予想につきましては、平成26年4月30日に公表いたしました「業績予想の修正及び役員報酬の減額に関するお知らせ」のとおり修正を行っております。なお、平成26年9月期通期の連結業績予想につきましては、平成26年4月30日に公表いたしました内容から変更ありません。

詳細につきましては、平成26年4月30日公表の「業績予想の修正及び役員報酬の減額に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を用いた計算をしております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,333,247	1,169,213
受取手形及び売掛金	322,763	222,285
仕掛品	3,452	18,975
その他	97,432	54,035
流動資産合計	1,756,895	1,464,509
固定資産		
有形固定資産	94,909	84,221
無形固定資産		
ソフトウェア	199,306	172,374
ソフトウェア仮勘定	—	19,847
その他	736	57,910
無形固定資産合計	200,042	250,133
投資その他の資産	93,285	94,647
固定資産合計	388,238	429,001
資産合計	2,145,133	1,893,510
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	53,000	20,216
未払法人税等	172,533	40,500
その他	170,275	144,003
流動負債合計	395,808	204,719
固定負債		
資産除去債務	1,700	1,701
固定負債合計	1,700	1,701
負債合計	397,509	206,421
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	210,351	210,351
資本剰余金	271,601	271,601
利益剰余金	1,457,685	1,397,149
自己株式	△192,013	△192,013
株主資本合計	1,747,624	1,687,088
純資産合計	1,747,624	1,687,088
負債純資産合計	2,145,133	1,893,510

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)
売上高	1,198,091	1,040,539
売上原価	709,526	693,761
売上総利益	488,564	346,778
販売費及び一般管理費	207,734	267,969
営業利益	280,830	78,808
営業外収益		
受取利息	0	0
還付加算金	1,734	805
その他	4,922	144
営業外収益合計	6,657	950
経常利益	287,487	79,759
特別損失		
固定資産除却損	—	18
本社移転費用	6,518	—
特別損失合計	6,518	18
税金等調整前四半期純利益	280,969	79,741
法人税等	64,986	36,261
四半期純利益	215,983	43,480
四半期包括利益	215,983	43,480
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	215,983	43,480



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成26年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	280,969	79,741
減価償却費	37,154	43,508
受注損失引当金の増減額(△は減少)	1,555	—
本社移転費用引当金の増減額(△は減少)	△31,000	—
受取利息及び受取配当金	△0	△0
固定資産除却損	—	18
本社移転費用	6,518	—
売上債権の増減額(△は増加)	△111,358	100,478
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,806	△15,522
仕入債務の増減額(△は減少)	5,132	△32,783
前受金の増減額(△は減少)	312,846	△33,181
未払金の増減額(△は減少)	24,711	△15,370
未収消費税等の増減額(△は増加)	4,943	46,405
未払消費税等の増減額(△は減少)	△52,641	22,697
その他	26,322	△6,823
小計	506,960	189,166
利息及び配当金の受取額	0	0
法人税等の支払額	—	△165,485
法人税等の還付額	61,927	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	568,888	23,681
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△65,980	△4,781
無形固定資産の取得による支出	△63,343	△79,607
敷金及び保証金の差入による支出	△52,820	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△182,144	△84,388
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△52,066	△103,326
財務活動によるキャッシュ・フロー	△52,066	△103,326
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	334,677	△164,033
現金及び現金同等物の期首残高	1,078,166	1,333,247
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,412,843	1,169,213

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは「ゲームコンテンツ開発事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。